

兵庫県のペニボタル(2)

(兵庫県甲虫相資料・170)

高橋 寿郎

10. *Plateros coracinus* (Kiesenwetter, 1874)。

クロハナボタル

Kiesenwetter が *Eros* 属の種として "Hiogo, Nagasaki" 産で記載された種である (Berliner Ent. Zeitschr 18:257, 1874)。Gorham は 1883 年 Kobe 産を記録している (Trans. ent. Soc. London, Part. IV:405)。

分布は日本全般で兵庫県下でも広く分布し個体数も割合多いようである。

産地：川西市能勢妙見山 (2 exs., 30-VII-1982)。Hiogo [Kiesenwetter, 1874], Kobe [Gorham, 1883]。神戸市山の街 (1 ex., 30-V-1954), 藍那 (1 ex., 16-VII-1979), 鈴蘭台大山公園 (1 ex., 23-V-1982, Y. Hachiya leg.), 烏原 (1 ex., 15-VI-1952, 1 ex., 18-VI-1971, 3 exs., 29-VIII-1971, 1 ex., 1-VII-1973, 1 ex., 5-VI-1976, 1 ex., 12-VI-1980, 1 ex., 12-VI-1980, 1 ex., 24-VI-1981, 1 ex., 15-VI-1982, 1 ex., 1-VI-1983)。神崎郡大河内町川上 (3 exs., 15-VII-1977)。相生市三湊山 (1 ex., 6-VII-1973)。氷上郡〔山本, 1958〕, Kaibara [Nakane, 1968]。宍粟郡音水 (1 ex., 15-VII-1973)。養父郡氷の山 (1 ex., 21-VII-1958)。美方郡扇の山〔辻, 岸田, 1972〕。

11. *Plateros hasegawai* Nakane et Baba, 1961

ニセクロハナボタル

中根, 馬場両博士によって記載された種である (Frag. Col. Pars. 1, p.5, 1961)。本州にのみ分布しているようである。

タイプは青森県の Nurukawa 産以外に十和田, 黒川 (新潟県), 木曾福島, 島々谷, 大台ヶ原山などがあげられている。

前記クロハナボタルと大変良く似た種でやや小型である。前胸背の形状, ♂交尾器の形状が異なる。兵庫県下では山地帯にいる種のようなようである。

産地：朝来郡須留ヶ峯 (1 ex., 31-V-1975, M. Yuma leg.)。城崎郡三川山〔高橋, 1978〕。養父郡氷の山〔1 ♂, 9-VIII-1951, K. Iwata leg., 1 ♂, 1 ♀, 5-VIII-1965, K. Tsuji leg.〕。美方郡扇の山〔辻, 岸田, 1972〕。

12. *Plateros marginicollis* Nakane, 1969

キベリハナボタル

中根博士により長野県の野尻と和歌山県的那智産をタイプに記載された種である (I.C., p.70-71, fig. 26, 1969)

本州産として知られている 前胸背の周辺部は黄色で勿論これだけでは種の区別は困難である。筆者の採集したのは♂で交尾器の形状と触角の形状等により区別した。ニセクロベニボタルにも似ている。兵庫県下では1♂しか採集していないので県下でどの様に分布しているか良くわからない。

産地：加西市畑(1♂, 23-VI-1974)。

13. *Plateros purpurivestis* Gorham, 1883 アカゲハナボタル

GorhamがFukushima産で記載した種である(I.C., p. 406, 1883)。本州, 隠岐島, 九州に分布しているようであり, 中根博士(1963), 佐藤・松田両氏(1985)の夫々原色図説がある。

兵庫県下では山地帯にのみ採集出来ている。

産地：宍粟郡赤西〔1ex., 27-VII-1973, H. Hatanka leg.〕, 音水〔1ex., 15-VII-1973, K. Tsuji det.〕。養父郡関宮町熊次〔Nakane, 1969〕, 大屋町田端山〔1ex., 5-VIII-1975, M. Yuma leg.〕。美方郡扇の山〔辻, 岸田, 1972〕。

14. *Lyponia delicatula* (Kiesenwetter, 1874) ヒメベニボタル

KiesenwetterがNagasakiを産地にEros属で記載された(I.C., p. 254, 1874)。Gorhamは1883年Lyponia属の種としてNagasaki, Yuyama, Oyama, Miyanoshitaを産地として記録している(I.C., p. 405, 1883)。

本種も中根博士(1963), 佐藤・松田両氏(1985)の原色図説がある。

兵庫県下には広く分布しているようであるが個体数はそれ程多いように思われない。

産地：川西市笹部〔仲田, 1979, 1982〕。神戸市丹生山〔1ex., 18-V-1958〕。宍粟郡音水〔2exs., 4-V-1972, K. Tsuji det.〕

多紀郡篠山〔中根, 1969〕。養父郡氷の山〔1ex., 3-V-1972, K. Tsuji leg., 6-V-1966, H. Hatanaka leg., 1ex., 6-V-1973, M. Yuma leg.〕。

美方郡扇の山〔中根, 1969, 辻, 岸田, 1972〕。

15. *Lyponia osawae* Nakane, 1969 ヒメカクムネベニボタル

中根博士が記載された種である(I.C., pp. 89-92, Fig. 35, pl. II-3, 1969)。原記載にはきれいな原色図がついている。またタイプの産地も多い。ただし本州からのみ知られている。バラタイプの中には岩田久二雄博士が篠山で採集された1♂, 辻 啓介氏が盃山(篠山の近く)で採集された1♀がある。

県の中央部から北にいる種のようなものである。

産地：多可郡白山〔1ex., 3-V-1973〕。多紀郡篠山, 盃山〔Nakane, 1969〕。養父郡氷の山〔1ex., 5-V-1973, M. Yuma leg.〕。

16. *Lyponia quadricollis* (Kiesenwetter, 1874)

カクムネベニボタル

KiesenwetterがHiogoとNagasaki産標本を用いCeletes属で記載された種である(I. C., p. 252-253, 1874)。

GorhamはNagasaki, Kobe, Miyanoshita, Subashiriを産地にLyponia属の種として図を入れて記載(I. C., p. 404-405, pl, XVII, fig. 5, 6, 1883)すると同時にKiesenwetterが同じ所でEros militansをJaponiaを産地として記載したものが(I. C., p. 253, 1874)本種の♀であるとされた。GorhamはLewisによると割合普通にいと記している。

日本でも割合図説も多い。北海道と九州から南を除いた全般に分布している。

兵庫県下でも広く分布している。

産地：川西市笹部, 横地〔仲田, 1982〕. Hiogo〔Kiesenwetter, 1874〕, Kobe〔Gorham, 1883〕 神戸市山の街(1ex., 5-V-1954), 谷上(5exs., 18-V-1958), 有馬(1ex., 14-V-1967), 北鈴蘭台(1ex., 7-V-1983)。多可郡鳥羽(1ex., 29-IV-1972, 1ex., 1-VI-1975, 1ex., 8-V-1976), 白山(2exs., 3-V-1973)。相生市三渡山(1ex., 20-V-1973, 1ex., 12-V-1974)。宍粟郡赤西(3exs., 21-V-1979, 1ex., 27-V-1979), 音水(1ex., 31-V-1970, 1ex., 3-VI-1975, M. Yuma leg)。水上郡〔山本, 1958〕。養父郡氷の山〔高橋, 1959, 中根, 1969〕。美方郡扇ノ山〔辻, 1963〕, Hataganaru〔Nakane, 1969, 辻, 岸田, 1972〕。

17. *Eropterus nothus* (Kiesenwetter, 1874)

カタアカハナボタル

Kiesenwetterが産地をJaponiaとして記載された種である(I. C., p. 258, 1874)。GorhamはPlateros?としてOtsu: Biwa Lake; Nara; Samegai; Kobeを産地としてLewisが1881年に採集した7頭の標本で記載している(I. C., p. 406, 1883)。

SchönfeldtのCat. Col. Japan(p. 121, 1887)では産地はGorhamのものをそのままとしてPlateros属として記録している。その後日本ではPlaterosの属として取扱われて来た。中根博士は1969年台湾産 *Asioplateros flavipennis* をタイプに*Asioplateros*属を創説本種もその属の種として取扱われた(Bull. Nat. Sci. Mus. Vol. 12, No. 1)。しかし同じく1969年の日本動物誌の中で同博士は北アメリカ産 *Dictyopterus trilineatus* Melsheimerをタイプとした*Eropterus*属(Green, 1951)が*Asioplateros*属とも違う点が見出せないとして*Asioplateros*を*Eropterus*のシノニムとして扱われた。

中根博士の原色による図説がある(1963, Plateros属)。割合とわかり易い種であり県下に

も広く産する種のようにである。

産地：川西市能勢妙見 (1ex., 30-VII-1982), 笹部〔仲田, 1978, 1982〕。Kobe〔Gorham, 1883〕。神崎郡大河内町川上 (1ex., 18-VII-1977)。飾磨郡雪彦山 (2exs., 14-VII-1967)。宍粟郡音水 (1ex., 20-VII-1969, 1ex., 11-VI-1972), 坂の谷 (1ex., 22-VII-1979)。豊岡市内〔高橋, 1978〕。養父郡氷の山 (2exs., 5-VII-1965, K. Tsuji leg.)。

18. *Lopheros lineatus* (Gorham, 1883)

ヒゲプトジュジベニボタル

GorhamがKashiwagiを産地にPlateros?として記載した (I.C., p.406-407, 1883)。河野博士によってAplatopterus属の種とされ (Ins. Mats., Vol.7, №1/2, 1932), しばらくはそのように扱われていた。中根博士の原色図説もそのようになっている (1963)。併しながら1969年同博士はLopheros属の種として取扱われた。

分布は本州と四国だけらしい (尤も最近の佐藤・松田氏によると本州, 南千島, 中国北東部が分布とされている。1985)。

産地：多可郡鳥羽 (1ex., 5-VII-1975, 1ex., 19-VII-1975)。宍粟郡坂の谷 (3exs., 22-VII-1979)。 (未完)

宝塚大橋の照明燈で採集した蛾 (続報その6)

新 家 勝

I. はじめに

今回は1985年中の採集品について報告させていただく。今回もまた, 採集場所は「宝塚市」を省略して記載する。

II. 採集結果

1. Sphingidae スズメガ科

(1) *Oxyambulyx ochracea* Butler ホソバスズメ

1985. 7. 7 武庫川町